

# 北海道浮魚ニュース

平成10(1998)年度 3号(通巻No.24)

1998年6月24日

北海道立中央水産試験場	Tel: 0135-23-8707	Fax: 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel: 0154-23-6221	Fax: 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel: 0138-57-5998	Fax: 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel: 0162-23-2126	Fax: 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel: 0152-43-4591	Fax: 0152-43-4593

## 道東太平洋スルメイカ北上期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間: 1998年6月9日~18日

調査海域: 道東太平洋[北緯41度~本道沿岸, 東経143度~146度] (図1)

- ◎スルメイカの北上確認するも漁獲わずか
- ◎外套長モード(平均) 13cmと小型
- ◎スルメイカ漁況予報7月16日発表!

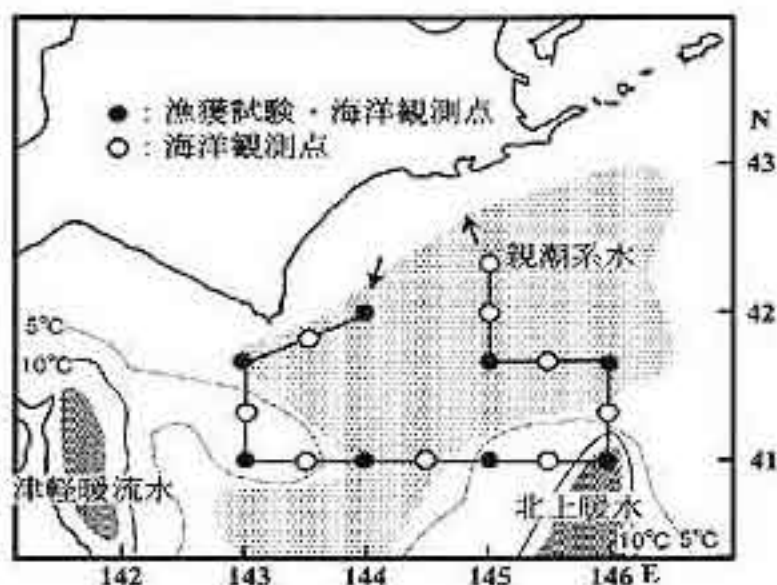


図1: 調査点および50m深水温

①調査区域の表面水温は7.5 ~ 16.2°C、50m深の水温は1.9 ~ 10.9°Cでした(図1)。親潮系水が三陸沖まで広がっているため、道東沿岸からえりも岬沖合の調査点の50m深水温は前年より1~2°C低くなっています。

した。逆に東経145～146度付近の沖合では、北上暖水の影響で50m深水温は前年より2～3℃高くなっていました。

②8調査点で漁獲試験をおこない、2点でスルメイカ69尾を漁獲しました(図2)。その他のイカ類としてはアカイカ34尾・ツメイカ895尾・タコイカ3尾でした。

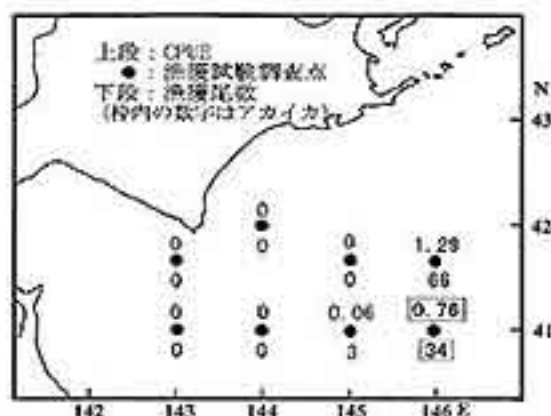


図2) スルメイカ・アカイカの漁獲尾数とCPUE

CPUE(イカ釣機1台で1時間に漁獲するイカの尾数)は、最も高い点で1.29と低く、調査全体の平均CPUEでは0.18と前年に続いて低い値となりました(表1)。

北緯41度、東経146度の地点でアカイカ34尾が漁獲されました。CPUEは、0.76でした。

表1 道東太平洋スルメイカ北上期調査結果(1993～1998年)

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長	外套長	調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
1993年 6月14日～30日	259	0.43	13～18	17	11
1994年 6月13日～23日	1,584	5.14	11～25	19	10
1995年 6月14日～24日	23	0.06	14～19	17	8
1996年 6月12日～21日	3,741	9.91	13～21	18	9
1997年 6月11日～18日	55	0.17	13～17	15	7
1998年 6月9日～18日	69	0.18	10～16	13	8

③スルメイカの外套長(胴長)は10～16cmの範囲で、モード(平均的な大きさ)は13cmでした。1993年以降では最も小さい外套長で、モードは前年より2cmも小さくなっています。

アカイカの外套長は35～43cmの範囲で、モードは40cmでした。

◎今回の北辰丸の調査を含めた各機関の資料を基にして、7月16日にイカ漁海況予報が発表されます。漁海況予報は、発表されしだいこの浮魚ニュースでご紹介します。